

## 令和5年度 保護者様向け 児童発達支援評価表

公表: 令和 6年 4月 1日

アンケート期間: 令和 6年 2月 26日～令和 6年 3月 22日

事業所名 Tsuda-Machi-smileKIDS

保護者数 33家庭 回収数 28家庭 割合 84%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	2	1		・利用人数にもよりますが運動課題を入れるには狭いかな?と思います 一いつでも施設内を見ただけですので職員にお声掛けください。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	26				2 基準定員は満たしております。配置職員につきましては、児童発達支援管理責任者(作業療法士)1名、保育士1名、理学療法士1名、児童指導員2名にて行っております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25				3 活動室内はシールや掲示物で分かりやすく、各個室は壁色に変化を持たせ、視覚的に見て分かりやすい環境作りを行っています。建物の構造上玄関のみ段差がありますが、必要に応じて昇降の補助を職員が行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27				1 活動室内はシールや掲示物で分かりやすく、各個室は壁色に変化を持たせ、視覚的に見て分かりやすい環境作りを行っています。建物の構造上玄関のみ段差がありますが、必要に応じて昇降の補助を職員が行っています。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか	27	1			日々のお子様のご様子、ご家族様からの聞き取り(ご希望や相談)や相談支援事業所のサービス等利用計画書に基づいて計画させていただいております。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26	1			1 相談支援事業所によるサービス等利用計画書、担当者会議、また当事業所指導員による聞き取り等をもとに、お子様に必要な項目を選択、目標を立案し、計画書を作成しております。6か月ごとにモニタリングを行い、目標や支援内容は再度見直しをさせていただいております。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28				職員一同共通理解のもと、支援に取り組んでおります。
	8	活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか	25	1			2 当事業所ではプログラムの固定化を図ることで、定着を促すことを目的に行っております。しかし、プログラム内容は専門職(理学療法士、作業療法士)が中心となり、お子様個々の成長に合わせた課題を検討し、日々の支援をさせていただいております。また運動プログラムについては内容を常に変化させております。就学前は個人ファイルを作成し、行った課題を毎回持ち帰れるようにさせていただいております。また、利用日には連絡帳・ <b>コドモン</b> に活動内容・様子を記載させていただいております。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17	3			8 ・子ども自身が認定こども園にかよっているため施設が交流されているかはわかりません →現在積極的な交流は実施しておりませんが、同法人内にこどもえんや学童保育があります。個人情報保護の観点やコロナ禍であることを鑑みながら、今後交流の機会を持つことができるか検討して参ります。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28				ご利用前に見学・体験の機会を設けております。他、ご契約時にはご説明させていただいております。ご不明な点がございましたらいつでもご質問ください。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	25	2			1 送迎を行うことで保護者様と直接お会いする機会が少ない為、特別にお時間をとっていただき児童発達支援管理責任者が直接説明、もしくはお電話でご説明させていただいております。また、個別に作成させていただいております。計画書に基づいて日々支援をさせていただいております。

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※iv等)が行われているか	13	5	1	9	ペアレントトレーニング等、保護者様向けの講習は現在行っておりません。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	27	1			・コードモンで画像付きで伝えていただいているのでとてもわかりやすく丁寧に報告していただいております。一面談時に聞き取り(アセスメント)をさせていただいております。また、支援時の様子は連絡帳やコードモンの活用、電話でさせていただいておりますので、園やご家庭でのご様子をお知らせください。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	8		2	・アプリを使っている様子を伝えてはいますが面談等もしてほしいです(会う機会がないため) ・1年間しか通えなかったため定期的かはわかりませんが、こちらが悩んだり聞きたいことがあった時にお時間作っていただいで親身になって答えていただきました →令和6年度より親子登所日(参観日)を定期開催する予定です。また、面談のご希望・ご相談は随時受け付けております。保護者様に支援の内容説明やご家庭での悩み等についてお伺いし、相談、助言させていただいております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	4	5	8	令和6年度より親子登所日(参観日)の再開予定のため、保護者様同士の関わりのお力になればと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	2		3	・日頃、連絡帳やコードモンでのやり取りがメインのため意思疎通が難しいと感じることがあります。 ・1年間しか通えなかったため定期的かはわかりませんが、こちらが悩んだり聞きたいことがあった時にお時間作っていただいで親身になって答えていただきました。 →苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載しご契約時に説明しております。また、対応として直ちに管理者への報告、全体ミーティングを行い、職員への周知の後、保護者様への説明を実施しております。 また、日々の支援やご家庭でのお悩み等に関するご相談に関しましては、面談時以外にも、お電話や保護者様による送迎時、連絡帳、コードモンを活用することで、随時対応させていただいております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28				・コードモンが導入されて急な連絡や返答が迅速にできるようになりました。 →保護者様による送迎時は直接お子様の様子をお伝えさせていただいております。また、事業所の送迎をご利用の保護者様にはsmileKIDS独自の連絡帳を作成し、活用しております。引き続きコードモンでの情報共有も継続いたします。また、必要に応じてお電話でのご相談、ご助言もさせていただいております。
非常時等の対応	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	1		3	・手紙等でいただいております →日々のご様子につきましては連絡帳やコードモン、お電話にて、行事案内につきましてはお手紙を配布しております。お子様個人のご様子は写真を入れたお手紙をお渡し(年2回)しております。また不定期ではありませんが、Instagram tsuda_machi_kitchen にてアップ致しておりますので是非ご覧ください。当アンケート結果および事業所自己評価に関しましてはホームページの掲載を行っております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	27			1	個人名等、個人情報に関する書類は鍵付き書庫にて保管させていただいております。 また、SNS等への投稿に関しましては、保護者様の同意を経て行っております。
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	24	1		3	各マニュアルは玄関に配置しておりますのでいつでもご覧いただけます。また、訓練にご参加いただきましたお子様のご様子は報告書(写真付き)にて各個人様に配布しております。
満足度	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	27			1	年間を通して4回(火災、地震・津波、風水害、送迎時災害想定)実施予定です。R5年度は、5月、8月、11月、2月に実施しております。
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	28				ありがとうございます。スマイルキッズは、安心・安全な環境でお子様の“ねっこ”を育て、また自己肯定感を育むことを大切に支援を行っております。お子様が、たくさんの“できた”を体験し、笑顔になれる場所づくりを目指して頑張っております。
	23	事業所の支援に満足しているか	28				お子様が楽しく通いながら、保護者の皆様と共にお子様の成長を見守っていける事業所となれるよう、今後も法人が一丸となって取り組んで参ります。

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....

(保護者の皆様へ)

日頃はつだまちスマイルキッズの運営にご理解、ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。  
令和3年度の保護者様向け 児童発達支援事業所評価にご協力ください。

その他、活動内容・運営サービス等ご要望、評価・お褒め頂ける点があればご記入をお願いいたします。

社会福祉法人 あさがお福祉会  
児童発達支援事業所 Tsuda-Machi-smileKIDS  
令和5年3月作成